

我が国では既に総人口が減少に転じており、今後少子高齢化が一層進む見込みです。

この危機的な状況もあって女性のさらなる活躍を期待する声が高まるなか、国の成長戦略第1弾でもその中核として「女性の活躍」が掲げられていることから、山口県の女性の活躍について起業の面からご紹介します。

自営業や会社の起業状況に関する統計の一つに「就業構造基本調査」があります。

7月に公表された最新の平成24（2012）年の調査結果では、本県の経営者のなかで起業された方の比率は、全国24位と中程度の位置ですが、女性に限るとにわかに異彩を放ちます。

県内で起業された方約5万5千人のうち約1万3千人が女性で、女性比率23.1%は、全国では秋田県の23.2%に次ぐきん差での2位となっています。

このうち、自営業では、約4万4千人のうち1万1千人が女性で、女性比率約25%は全国2位、会社などの役員でも約1万1千人のうち1800人が女性で、女性比率約16%は4位を占めています。

図は、山口県の年齢層ごとに女性起業家の人数と女性比率の全国順位を示したものです。人数は少ないものの順位と比率が高い25歳から34歳の層と、人数が多く順位も高い65歳以上の層が特に際立っています。

県ではかねてから女性の起業支援に力を入れ、現在も農業の6次産業化などを推進しており、その成果がこうした活躍となって現れているのかもしれない。

起業は、地域の発展や活力維持のため今後も重要な雇用創出に、最も効果が高いものの一つとされています。山口県の女性のより一層の活躍が期待されます。

